



朗読劇「永久(とこしえ)に、咸臨丸」。カーテンコールの後
は、ヒット曲「ゆめぐり」の歌詞を「サラキめぐり」に変え、
出演者と観客が合唱。舞台と客席が一体となり幕を閉じた

咸臨丸への思い全国に

【木古内】幕末の軍艦「咸臨丸(かんりん丸)」が木古内町のサラキ
岬沖で座礁、沈没してから140周年を迎えたことを記念したイベン
トが24、25の両日、同町で開催された。記念式典や同艦にゆかりのある
全国各地の自治体から関係者を招いた「全国まちづくりサミット」、
咸臨丸の歴史を紹介する朗読劇が行われた。咸臨丸の歴史、文化的な
意義を全国に発信したイベントの様子を写真で紹介する。(松宮一郎)

終焉140周年イベント

全国各地のゆかりの地の関係団体が出席した「全国
まちづくりサミット」。咸臨丸が沈没した経緯を確認
しながら、まちづくりのアイデアを語り合った



朗読劇に出演した一般
町民は職業もさまざま。
仕事の合間に練習を重
ね、舞台では堂々と役を
演じきった朗読劇を音楽
で盛り上げたのは木古
内中学校の吹奏楽部。ダ
イナミックなサウンドで
観客を圧倒



国道228号沿いのサラキ岬で開かれた追悼記念式典。来賓や
一般参加者約250人が参加し、沖合に眠る咸臨丸を追悼した

